

認定制度の変遷

- ・高齢者、障害者や妊産婦等、様々な人が利用しやすいタクシーとして、UDタクシーの認定制度を創設（H24）
- ・大型電動車いす利用者のニーズに対応するため、スロープの耐荷重の見直しなどを実施（R 2）

新設当時の課題

- ・レベル1には複数の型式が認定されているが、新設現在に販売中の車両はJPN TAXIのみ
- ・車両価格が高いため、地方ではUDタクシーの導入が進んでいない。
- ・より厳しい規定があるレベル2については、現在まで認定の申請はなし。

→より良い車両の開発・普及に黄色信号

JPN TAXI（トヨタ製）



関係者の声

<利用者>

- ・JPN TAXIは横乗りで、車内で転回できない場合、乗車中も横向きで固定。後ろから乗車できる車両を希望。
- ・JPN TAXIはスロープ設置に時間がかかり、利用に躊躇。
- ・UDタクシーの普及が遅れている地方でも車いすで気軽に移動できるようにしてほしい。

<メーカー>

- ・JPN TAXIがUDタクシーとして世間に認知されており、参入に躊躇。
- ・次期UDタクシーの開発は当面先（開発コストの回収が見込めない）
- ・タクシー専用車両の開発は困難（同上）

<タクシー事業者>

- ・JPN TAXIは価格が高い。コロナで疲弊しており投資余力がない。
- ・地方ではLPGスタンドの閉鎖が相次いでおり、ガソリン車の方が利便性が高い。



上記の声を踏まえ、関係各者と調整・検討を重ね、令和6年4月1日にUDタクシー認定レベル準1を創設。

- ・UDタクシーの導入が遅れている地方でのバリアフリーのすそ野を広げ、利用者利便の向上を図る
- ・多種多様なUD車両のラインナップを用意し、メーカー間の切磋琢磨を促し、より良い車両の開発につなげる
- ・導入意欲はあるが、価格面で躊躇しているタクシー事業者に新たな選択肢を用意



ユニバーサルデザインタクシー認定レベル準1の新設について

レベルごとの基準

車いすスペース	レベル準1	レベル1	レベル2
長さ	1,100mm以上	1,300mm以上	1,300mm以上
幅	630mm以上	750mm以上	750mm以上
高さ	1,300mm以上	1,350mm以上	1,400mm以上
車内傾斜角	15度以下	10度以下	概ね水平
その他	レベル準1	レベル1	レベル2
スロープ耐荷重	200kg以上	300kg以上	300kg以上
乗降用手すり	なし	あり	あり
足元照明	なし	あり	あり
乗降口明度差	なし	あり	あり

令和6年4月15日
レベル準1認定



TOYOTA シエンタ

国の支援措置

	レベル準1	レベル1	レベル2
購入補助	車両本体価格の1/3 (上限40万円)	車両本体価格の1/3 (上限60万円)	車両本体価格の1/3 (上限60万円)
税制支援	自動車重量税、自動車税（環境性能割）の減免 (ただしエコカー減税あり)		

車体表示マーク



レベル準1



レベル1



レベル2

令和6年5月22日
レベル準1認定



TOYOTA ノア・ヴォクシー